

現代中国茶文化考

王 静 著

2017年2月刊行

A5判・306頁／定価：本体 5,500円(税別) ISBN978-4-7842-1879-0

いまや現代中国のアイデンティティともいえる、茶文化。

その茶文化を創造し、再構築した政治的・経済的文脈とはどのようなものであり、それはどのようなプロセスを経て、さらにはそこにいかなる力がはたらいているのか。ひいては、茶そのものがもつ可能性とは。中国の現代茶文化を映し鏡として、文化が本来もっている意味や力を見つめ直す。

内容目次

序章 茶文化研究への視座

本書の視点／本書の特徴／本書の構成

第1章 茶葉生産と中国の社会主義建設

建国当初の茶葉状況／茶葉生産の恢復／茶葉生産と社会主義工業化／革命の爲の茶葉生産

第2章 「茶文化」の出現と経済建設

「茶葉問題」の発生／「茶文化」ということばの誕生／茶文化の創造／茶文化への欲求

第3章 台湾茶芸の創出と中国大陆への伝播

台湾茶芸を育んだ社会変革／1970年代の台湾茶危機／台湾茶芸の構築／台湾茶芸の伝播

第4章 茶文化ナショナリズム

茶文化から民族文化へ／民族文化の演出／学術研究による茶文化操作／茶文化復興の象徴

第5章 茶文化産業

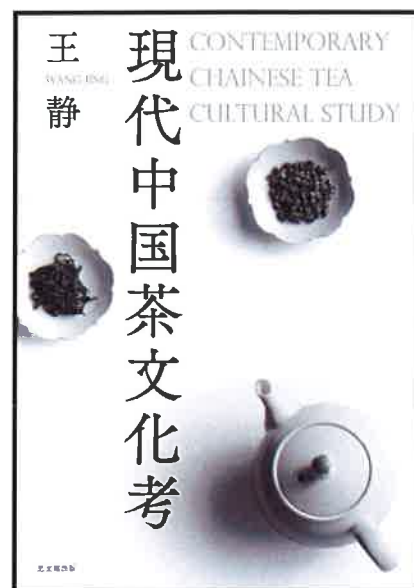
茶芸館／茶文化観光／中国茶文化の消費

第6章 中国茶のソフトパワー

新中国の外交と茶／茶文化パブリック・ディプロマシー／日本における「中国茶」の受け入れ

終章 中国茶文化の可能性

国家が創る「文化」、「文化」が創る国家／つながりの茶／茶の可能性



おう・せい...1982年 中国四川省生。2015年大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程修了。博士(文学)。現在、大阪観光大学観光学部専任講師。「当代中国茶芸館の興起」(『農業考古』《中国茶文化》専号, 2012年10月)、「現代中国における『茶文化』の出現と創造」(『都市文化研究』第15号, 2013年)、「中国茶在日本の登陸、普及、生根」(沈立江主編『盛世興茶』, 浙江人民出版社, 2014年)など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注 文 票		発 行 : 思 文 閣 出 版		(京都 取引コード 3402)	
冊 数	冊	現代中国茶文化考		本体5,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1879-0
お 名 前			tel	本書H PのQ Rコード	
			e-mail		
ご 住 所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

基礎茶式 中国茶道研修方法

大益茶道院発行／呉遠之著

■「惜茶愛人」を主旨として、陸羽の『茶経』をはじめ日本の茶道・台湾の茶芸などさまざまな茶文化を研究・実践してきた著者が、中国の茶道「基礎茶式（大益八式）」を考案。

■「基礎茶式」の八つの作法に意味づけられた精神や、作法の手順、ポイントを、多くの挿図とともに紹介・解説する。

■「心の良薬」である茶を通じて、芸術を楽しむ心を培い、精神修養を目指す教本となっている。



▶46判・156頁／本体900円(税別)

ISBN978-4-7842-1824-0

茶と室内デザイン

小泉和子編

日本にもたらされた喫茶文化は、室町時代の書院造に収斂され、やがて大名居館に発展すると、一方で侘び茶による草庵風茶室が生まれる。

日本的とされる日本住宅の室内デザインはほとんどが茶によって育まれた。

茶が日本住宅の室内意匠にあたえた影響について、それぞれの専門の立場からの論考を収録し、豊富なカラー図版とともに、茶道と室内デザインの関係性を考える一書。



▶B5判・224頁／本体3,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1808-0

講座 日本茶の湯全史 [全3巻]

茶の湯文化学会編

■本講座は、日本文化史の中に位置づけられた茶の湯の展開を、茶の湯文化学会が総力をあけて俯瞰する。

■時代を輪切りにしながら見る本編と、茶の湯の重要な要素を通史として見渡す特論からなりたち、さらに各巻には時代別の概説と研究の手引き、参考文献を掲げ、研究課題を提示することで、初学者にはもちろん、さらに深く茶の湯研究を志す人にとってのハンドブック的な要素もたせる。

■最新の研究成果をふまえて茶の湯を通覧する、まったく新しい概説書。

▶46判・平均330頁／各本体2,500円(税別)

第1巻 中世 ISBN978-4-7842-1696-3
第2巻 近世 ISBN-78-4-7842-1697-0
第3巻 近代 ISBN-78-4-7842-1698-7

熊倉功夫著作集 [全7巻]

熊倉功夫著

伝統とは、美とは、日本とは一。文化史の諸領域にわたり茶の湯を軸として、鋭敏な感覚で鮮やかに本質を明らかにし、分野を軽々と飛び越えて新たなパースペクティブを示し続けてきた著者が、自選によってまとめる七つの小宇宙、全7巻。

▶A5判・平均500頁／各本体7,000円(税別)

第1巻 茶の湯—心とかたち— ISBN978-4-7842-1852-3
第2巻 茶の湯と茶人の歴史 ISBN978-4-7842-1853-0
第3巻 近代茶道史の研究 ISBN978-4-7842-1854-7
第4巻 近代数寄者の茶の湯 ISBN978-4-7842-1855-4
第5巻 寛永文化の研究 ISBN978-4-7842-1856-1
第6巻 民芸と近代 ISBN978-4-7842-1857-8
第7巻 日本料理文化史 ISBN978-4-7842-1858-5

茶の医薬史 中国と日本

岩間真知子著

もともと茶は薬であった。日本や中国の歴代医薬書の中には茶の記事があり、そこには茶の効能や処方のほか異名・産地・製法も記されている。本書は、中国と日本の医薬書史料の影印を多数収録し、それらの史料から中国・日本の各時代における茶の様相とその歴史の変遷を明らかにする。

▶A5判・526頁／本体9,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1463-1

売茶翁の生涯

ノーマン・ワデル著／樋口章信訳

僧臭を脱却して、しかも俗臭に堕ちない禅僧で煎茶の祖とあおがれる売茶翁(1675-1763)の生涯をまとめた初の伝記(英語版)を年代順に整理し、書きあらためた日本語訳版。売茶翁の生きざまや思想は、伊藤若冲や池大雅ら当代文化人を魅了し、時を超え人びとの魂をゆさぶってやまない。好評につき重版出来！

▶A5判・256頁／本体3,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1845-5

日中演劇交流の諸相 中国近代演劇の成立

陳凌虹著

日本の明治期、中国の清末民国初期における日中演劇界の緊密な連携関係、とりわけ中国の近代演劇の成立に果たした日本の役割について、両国話劇のはりである文明戯(中国)と新派(日本)の関係を中心に、多数の新史料と具体的な事象(人物の往来、脚本の翻訳、舞台芸術)を通して総合的に論じる。

▶A5判・418頁／本体8,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1722-9

立憲国家中国への始動 明治憲政と近代中国

曾田三郎著

従来の単線・単純な辛亥革命史研究の枠組みを打開すべく、立憲国家中国の形成という観点から叙述する中国近代史。内閣制を中心とする行政制度の改革や、省制・省政の改革を軸に、大隈重信などの政治指導者や、有賀長雄のような伊藤系の法学者などの影響を具体的に把握することで、明治憲政の影響を動態としてとらえる。

▶A5判・400頁／本体8,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1464-8

中華民国の誕生と大正初期の日本人

曾田三郎著

中国・日本双方の報道を通して大正初期の日本を見てゆくと、当時の日本・中国間における緊密な関係性がみえてくる。大正初期、日本の国会では中国のあり方・対中国政策が盛んに議論され、その如何が世論を動かした。臨時約法を始めとする中華民国誕生を取り巻く諸問題を通して、大正初期の日本人を捉え直す。

▶A5判・328頁／本体6,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1695-6

古井喜実と中国 日中国交正常化への道

鹿雪瑩著

国交正常化に大きな役割を果たしながら、これまで十分な研究がなされてこなかった古井喜実(1903-95)に注目し、未公開資料をふくむ「古井喜実文書」ほか日中の資料を駆使しながら、古井を中心とした自民党内親中派による国交正常化への軌跡、交渉の裏側を総体的に検証。

▶A5判・356頁／本体3,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1590-4

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。